

5. 歯学部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 16)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 16)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 1年次の「初年次セミナー」から3年次の歯薬による「関連臨床医学」、4年と5年次の医歯薬共修の「医と社会」、そして5年と6年次の医歯薬及び保健学科、4学科合同の「離島実習」を通して、今後、具体化する地域包括ケアに向けて多職種連携の知識と技術の応用・実践を行っている。
- 平成28年度にLACS上でのクリッカーシステムが整備されたことで、このシステムを使った講義中でのアクティブラーニングの実施が容易になり、学生自身で考え、他人の意見を取り入れながら理論を構築する能力を養う教育カリキュラムが採用されるようになった。少人数のグループ討論での応用だけでなく、教員からの各学生への到達目標の判定にも有効で、きめ細かな学修支援が行えるようになった。このLACSクリッカーのFDを実施し、教育におけるPDCAサイクルの拡充に寄与している。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。